

地方開催  
企画  
第2弾

# スマート・プランニング 実践セミナー @山形市 を開催

平成30年11月14日(水)、土木学会土木計画学  
研究委員会「スマート・プランニング研究小委員会」  
主催による地方開催企画の第2弾としてスマート・プ  
ランニング実践セミナー(@山形市)が開催されました。

セミナーは、産・官・学の実務者を対象として、山形  
市の取組みを事例に、スマート・プランニングの調査  
計画を立案するためのスキル習得を目指して開催さ  
れました。



## 開会挨拶

セミナーの開催にあたり、スマート・プランニング研究小委員会の  
委員長である**東京大学大学院工学研究科の原田昇教授**より、「新しい  
課題に答えるように計画手法も変えていくことで役に立ち形でやって  
いかないと社会的にいいことにはつながっていかない。スマート・プ  
ランニングについては国土交通省としても大変に力をいれているので  
スマプラとは何か、また何に役立つかをこのセミナーを通じて考えて  
ほしい。」とご挨拶いただきました。



## 山形市取組み概要説明

続いて**山形市まちづくり推進部都市政策課の鈴木暁子氏**より、山  
形市中心部の各エリアの概要について説明いただきました。中心市  
街地には商業施設やオフィス、都心機能のほか、昔ながらの街並み  
が残ったエリアや、昔からの街並みや建物を活かした「リノベー  
ション通り」、御殿堰・まなび館・紅の蔵・guraなどの観光施設や  
数多くの病院など、多様な街並み・施設が集積していることや、  
「花笠祭り」や「山形国際ドキュメンタリー映画祭」などのイベン  
ト会場として賑わうこと、また、コミュニティバスの運行や道路の  
整備など様々な視点から地域がもつポテンシャルについてご紹介い  
ただきました。

一方で、商業施設の撤退や県庁、病院の移転などが進み、歩行者  
通行量が半減するなど、中心市街地の賑わいが失われている中で、  
歩行者通行量・自転車通行量の増加につながる事業展開や、空き店  
舗を解消した不動産の有効利用などの課題と賑わい回復のための各  
種計画の必要性について言及されました。



# まちなか見学会

続いて、山形市職員の方々の案内により参加者一同で中心市街地の取組事例や今後事業が予定されている箇所をめぐるまちなか見学会が行われました。参加者一同は山形市職員による案内に耳を傾けながら、中心市街地を約一時間かけて見学しました。



## 基調講演

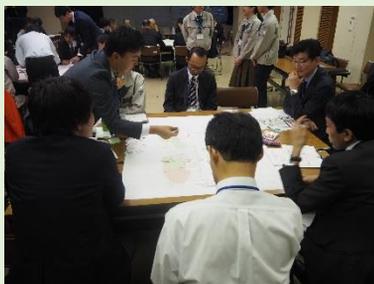
基調講演では、まず、**国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室の関信郎氏**からは、「スマート・プランニングについて」と題し、スマート・プランニング推進の背景や具体的な手法、事例の紹介、普及に向けた取組みについて説明がありました。

次に、**東京大学大学院工学系研究科の羽藤英二教授**からは、「データ駆動型都市計画へ」と題し講演いただきました。他都市でのにぎわい創出のための取組事例や、都市計画を地元と外部で交流しながら議論する場所としてアーバンデザインセンター構想について紹介いただきました。また、山形市をフィールドとして、スマプラと社会実験を組み合わせた新しい通りの使い方の実現や、新しいシナリオ評価型の計画づくりに関するご意見をいただきました。

最後に、**東北芸術工科大学の吉田朗教授**からは「パーソントリップ調査から見てくる山形市の交通特性」と題し、山形都市圏で実施されたPT調査の速報値に関するおおまかな概要を説明いただきました。自動車の利用が全国平均と比べても高く、高齢者の免許返納率も低いことから山形では自動車がなくてはならない状況であることを参加者一同で認識しました。

# ワークショップ

「スマート・プランニングの調査計画を立案しよう（山形市を事例に）」と題して、山形市中心部におけるまちづくりの課題や対策案、スマート・プランニングの視点から把握すべき情報や活用可能なデータについて意見交換と発表を行ない、先生方に講評をいただきました。



## 発表



## 講評



原田先生  
具体的に進んだらいいと感じさせるような提案が行われたんじゃないかという印象。



羽藤先生  
各班それぞれ面白いところがあった。まちなかのトータルの経済効果を考えると面白いプランが考えられると思う。



吉田先生  
このようなセミナーを2回目、3回目と続けて進化させていく、また、将来的に市民と一緒に取組めるとよい。

## ワークショップでスマプラを疑似体験、理解を深める

甲府市に続き第2弾の地方開催企画となる本セミナーには、山形市、山形県、宮城県、仙台市、国交省など行政関係者23名、大学関係者3名、コンサルタント会社等13名の合計約40名が参加しました。さまざまな職種のメンバーが集まり、スマート・プランニングについて、それぞれ関心事項や疑問点を話し合い、調査計画を立案することで、スマート・プランニングに対する理解を深めていく様子が見られました。



本セミナーで用いました資料につきましては、スマート・プランニング研究小委員会ホームページにおいて後日掲載予定です